

長岡工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	科学技術日本語Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0025			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	一般教育科			対象学年	2		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	化学・物理基礎・微分積分・その他配布資料						
担当教員	増田 寿枝						
到達目標							
この科目は長岡高専の教育目標の（B）と主体的に関わる。この科目の到達目標と成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連性を以下の表に示す。 1) 理数系科目の必須用語の習得運用。 35% (b2) 2) 理数系科目特有の用語を正しく聞きとり理解することができる。 35% (b3) 3)理工学用語を用いて文章表現を正しく行うことができる。 30% (b2)							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
理数系科目の必須用語の習得運用		理数系科目の必須用語の習得運用が可能		理数系科目の必須用語の習得運用が概ね可能		左記のレベルに達していない。	
理数系科目特有の用語を正しく聞きとり理解することができる		理数系科目特有の用語を正しく聞きとり理解することができる		理数系科目特有の用語を正しく聞きとり理解することが概ねできる		左記のレベルに達していない。	
理工学用語を用いて文章表現を正しく行うことができる		理工学用語を用いて文章表現を正しく行うことができる		理工学用語を用いて文章表現を正しく行うことが概ねできる		左記のレベルに達していない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	この科目では、理工学で用いる用語の理解と運用を適切に行えるよう学習を進める。用語を確実に覚え、理解言語から使用言語となるよう繰り返し使用し定着を図る。 また、簡単なレポートの書き方や発表の方法を学び、3年次の学習に繋がるような指導を行う。						
授業の進め方・方法	理工学用語の読み方や使用例などをイメージしながら学ぶ。 簡単なレポート作成や発表の方法もあわせて学ぶ。 ※学生のレベルに合わせ適宜学習内容変動の可能性あり						
注意点	1．無断遅刻・欠席厳禁（何らかの手段で事前に連絡すること） 2．飲食厳禁 3．予習をすること 本科目は本来、面接授業として実施を予定していたものであるが、新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態において、必要に応じ遠隔授業として実施するものである。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	理数系科目の日本語基礎を復習				
		2週	数学（15分）化学（30分）物理（30分） それぞれその週に進んだ範囲まで				
		3週	数学（15分）化学（30分）物理（30分） それぞれその週に進んだ範囲まで				
		4週	数学（15分）化学（30分）物理（30分） それぞれその週に進んだ範囲まで				
		5週	数学（15分）化学（30分）物理（30分） それぞれその週に進んだ範囲まで				
		6週	数学（15分）化学（30分）物理（30分） それぞれその週に進んだ範囲まで				
		7週	前期中間試験		試験時間：50分		
		8週	数学（15分）化学（30分）物理（30分） それぞれその週に進んだ範囲まで				
	2ndQ	9週	数学（15分）化学（30分）物理（30分） それぞれその週に進んだ範囲まで				
		10週	数学（15分）化学（30分）物理（30分） それぞれその週に進んだ範囲まで				
		11週	数学（15分）化学（30分）物理（30分） それぞれその週に進んだ範囲まで				
		12週	数学（15分）化学（30分）物理（30分） それぞれその週に進んだ範囲まで				
		13週	数学（15分）化学（30分）物理（30分） それぞれその週に進んだ範囲まで				
		14週	数学（15分）化学（30分）物理（30分） それぞれその週に進んだ範囲まで				
		15週	まとめテスト②		試験時間：50分		
		16週	試験解説・発展授業		試験返却・まとめ		
後期	3rdQ	1週	前期内容復習 構成・列挙・提示				
		2週	定義・分類				

